

60年前に日本を飛び出し、

今、誰もが安心して生活できる日本にするために

新井聖子 仙台市在住

180分を超えるお時間を共有させていただけた事に感謝いたします。たくさんのお話を聞きました。ありがとうございます。

世界幸福度ランキング、日本は55位。それも毎年順位が少しずつ下がっているという現状です。千葉さんがかつて日本を飛び出し当時1位だったデンマークに1967年に移住されたのは、住みよい日本に変えたいという強い思いがあったのだと、昨夜のお話の中から感じました。

社会福祉国家

どうしたら日本に住む人々が幸せを感じる国になるのだろう、という対話セッションは楽しかったです。短いやり取りの中でさえ、その人となりも感じることができました。デンマーク人が自分を一番大切にするという話がありました。自分を大事にする人は、周りの人をも大事にするのだという、そういった国民一人一人が他者との繋がりを感じて人生に意味を見出せるような社会システムの構築が求められるのでしょうか。日本が社会福祉国家になるためには、遠い遠い道のりなのだと知らしめさせられたセッションでもありました。

ターミナルケア

ご自身のターミナルケアをどのように計画されていたらいいか？という質問をさせていただきました。

『その状況になっていない、考えていない』というお話でした。質問してから愚問だった事を反省しました。デンマークでは、自身の思いがカタチになる人生の最終章が当たり前にあるのです。食べられなくなったら、カラダに負担のかかる延命措置はせずに、痛みなく自然に、それも家族に介護の負担を強いることなく国が看ってくれる。住み慣れた場で最期まで尊厳を保ちながら自然な死を迎えるための緩和ケアが行われているのが当然。だから、日本のように老後資金何千万を用意して、エンディングノートであれこれ伝える必要な無かったのだと改めて思い知らされました。おっしゃったように、好きな土地にお墓を持っていくのでしょ。なんだか、根底から覆された感覚です。私はどっぴりと日本色に染まっているんだなあと感じました。

自己決定を尊重し重視

日本は今更ながらですが、保健室登校した児童が教室に入るタイミングを自分で決めることや、認知症当事者が自分で決めることを『新しい認知症観』として啓蒙している真ただ中です。

デンマークでは、ず〜と以前から子どもも障がい者も高齢者も誰もが自己決定する事が当たり前だとわかりました。今、日本で起きている多くが『自己決定ができなかった』ことが問題だったのですから、それが重んじられているデンマークでは問題にもならないのでしょうか。幼少期から当たり前で自己決定ができる環境であれば、親ではなく本人の意思の尊重されるのです。

子どもも障がい者や高齢者も、本人の意思を最大限尊重されれば、今の日本の多くの課題は一掃されてしまいます。

ということは、私の大学院での研究計画は、デンマークでは題目にも上がらない事なのだと思います。

声をカタチに

女性の政治参加率が高いことや、高齢者委員会、障がい者委員会があつて当事者が声をあげる場があることも知りました。何よりも『18 歳以上なら誰でも立候補できる』仕組みが凄いです。供託金も無し、給料も無し、働いている人を考慮して議会は夜に開催、お金がかからない選挙活動、6 年以上住んでいれば外国人でも立候補が出来て投票も出来る・・・これなら日本のように汚職も政治資金という問題が出ること自体考えられない仕組みです。

気持ちがある人が手を挙げる方式をそのまま今の日本に持ってくるのは難しいと思います。政策以外の事で多くの論議をしている日本の国会のように、無駄な時間が発生しないだけでも羨ましい制度だと感心してしまいました。

フォルケ・フォイスコーレ

デンマークのフォルケ・フォイスコーレを真似たものが日本に 3 か所ほど出来ているようです。北海道、神奈川県鎌倉市、そして宮城県大崎市です。

『日本のフォルケ・フォイスコーレ』について質問させて頂きました。バツサリと斬られました。デンマークのそれは無償で行われていますし、資格取得などもなく、全寮制で試験も成績もないというポリシーなので、全くの別物なのでしょう。日本は 1 か月 40 万の滞在費がかかるという部分から崩壊しています。もともと土壌が違うので、雰囲気を真似ることは出来ても本来の意味を問うとかなりの差異があるのはよくわかります。

非行少年が今や

1967 年に日本を飛び出した千葉少年が、デンマークでフォルケ・フォイスコーレを創設し、民主主義とは、幸せの国とは？と問い続け、日本を今よりもっと幸せな国に近づけるためにこうして私たちを巻き込み論議をして下さいました。

非行少年と飛行少年をかけことばにするなど、ダジャレが飛び交う穏やかなその印象からは考えられないくらいの強く熱いエネルギーを感じました。ご著書『理想の国』をこれから拝読させて頂きます。冒頭には『今こそこの泥沼のような日本国から脱出し、世界に誇れる住みよい国・幸せな国・理想の国、新日本国づくりの計を立てましょう』の記載がありました。

この本の中では『私が世界で一番好きな国は日本です』と言っておられます。半世紀以上も千葉さんが思い願っていた幸せな国日本にするため、25 年後には日本が幸せな国に近づけるべく、私も微力ながら闘う一人でありたいと思います。

千葉忠夫様、これからもどうぞ、私たちに多くの示唆を頂きたくお願いいたします。大崎市鳴子におけるご講演でお会いできることを楽しみにしております。